



完成した小堤山公園南側山頂の波津2号津波避難地(相良地区)

命を守るための避難地などが完成

■津波避難タワー、避難地の完成式および安全祈願祭

相良地区の波津2号津波避難地(小堤山公園南側山頂)と川崎地区の津波避難タワー(榛原交番南側)の完成式および防災訓練が、7月23日に行われました。

また、津波避難タワー整備工事2カ所(福岡区公民館北側、樋尻川南側)の安全祈願祭も同日に行われました。

市では、今後も津波から市民の皆さんの命を守るために、津波避難施設の整備を着実に進めています。

来て見て聞いて市の魅力を体感

■空き家めぐり移住体験ツアー

県と中部地域3市(藤枝・島田・牧之原)の主催による、「静岡県中部(藤枝・島田・牧之原)空き家めぐり&移住体験ツアー」が、7月30日・31日の2日間にわたり行われました。

牧之原市には、首都圏から訪れた6人が参加。先輩移住者から暮らしぶりを聞いたり、空き家見学や海に行ったりなど、市の魅力を体感しました。

参加者は「実際の暮らしぶりが感じられて良かった」「海がとても印象的」「先輩移住者と話が参考になった」など、関心を示してくれました。



空き家めぐりで職員から説明を受ける参加者たち

お茶の文化や作法を学ぶ

■お茶の会

相良幼稚園は7月13日、地元のお茶の先生を講師に招き、5歳児26人を対象にお茶の会を開きました。

お茶の会は、お茶の作法や抹茶の味を子どもたちに知ってもらおうと、年3回開催。園児らは「苦いけどおいしい」と抹茶の味を楽しみました。

名波令子園長は「普段味わうことができない抹茶の味や、厳かな雰囲気を経験することができ、子どもたちにとって心を穏やかに過ごす時間となりました」と話しました。



お茶の作法を楽しみながら学ぶ園児たち



水を出しっぱなしにした時の水量を検証する児童たち

水を大切に環境を守る意識を

■水の出前講座

川崎小学校4年生77人を対象とした水の出前講座が、7月20日に行われました。

講座では、県職員が小学校などに出向き、水への思いやりや水の大切さを、子どもたち教えています。児童たちは、水の循環を学んだ後、小川の水の汚れぐあいや、水を出しっぱなしにした時の水量がどのくらいかなどを調査・検証しました。

児童たちからは「シャワーを出しっぱなしにしてはいけない。川や海のゴミ拾いも大切」など多くの意見が出されました。



品評会に出されたお茶のにおいや手触りの違いを確認する子どもたち

五感で楽しむお茶の奥深さ

■市認定農業者協議会一番茶品評会

市内の生産農家で作る市認定農業者協議会は7月1日、さざんかで一番茶品評会を開きました。

品評会には、会員から86点が出品され、審査員が滋味、香り、水色、外観の4項目を審査。最優秀賞の市長賞には、ヤマ半村松園の村松秀則さん(勝間田区)が輝きました。

品評会は一般公開され、市内9小学校の3年生と県立吉田特別支援学校中学部の計407人が見学しました。

併せて行われたお茶教室では、子どもたちが自分たちで入れたお茶の味や香りを楽しみながら、お茶の奥深さに感動していました。

歯を大切にすると体も健康に

■歯学講座

歯学講座が7月12日、細江小学校5年生37人を対象に行われました。

児童らは、虫歯ができるしくみや虫歯予防の仕方学んだ後、実際に歯垢染色剤を使用し、ピンクに染まったみがき残しの歯を鏡で確認しながら正しい歯みがきの方法も学びました。

学校医で歯科医の大井通先生は「歯を大切にすることで、歯以外にも効果がある。食事は30回以上噛むことやフッ素を理解し活用することが虫歯予防につながる」と子どもたちに呼びかけました。



ピンクに染まった歯を鏡で確認しながらみがく児童たち



園児たちが作った色鮮やかな七夕飾り

お星さまに願いを込めて

■七夕のつどい

勝間田保育園の七夕のつどいが7月7日に行われ、2歳から5歳の園児81人が参加しました。

つどいでは、年長組の園児一人一人が願いごとや目標を発表。先生らによるパネルシアターの劇を鑑賞して七夕の由来を学んだり、全員で七夕の歌を合唱したりして楽しみました。

また、七夕飾りは、園児がお父さんやお母さんと一緒に作ったもので、織姫と彦星や星、魚、スイカなどの形をした色鮮やかな飾りが、それぞれの部屋の前に飾られました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp